

## 第34回 JR 連合中央委員会開催



持続可能な地域公共交通をつくる JR 連合政策提言を説明する森安部長

2月1日、第34回 JR 連合中央委員会が京都市内で開催され、大杉委員長・辻村書記長・南関東ロジ労組山田委員長が出席し、2022 春闘を含め今後の活動方針を満場一致で可決しました。

委員会を代表して挨拶に立った JR 連合荻山会長は、安全・2022 春闘・組織・政策・政治の5点を主に述べられ、JR 連合が団結してコロナという難局を乗り越え、反転攻勢に向け確実に取り組んでいくことを力強く発信されました。

オミクロン株により、蔓延防止等重点措置が多く地域に発令されたことで、回復傾向であった人流が再び抑制され、各旅客会社は非常に厳しい経営を強いられています。JR 貨物においても輸送障害が多く発生し、厳しい舵取りを余儀なくされています。

会社の経営状況も厳しいですが、私たちの生活もかなり厳しくなっており、2022 春闘では、「人への投資」を強く訴え取り組んでいきます。